

令和元年度（平成31年度）

事業報告書

旧一般財団法人 さっぽろ健康スポーツ財団

1 指定管理施設の運営事業

指定管理施設においては新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、2月下旬より個人利用の休止や専用利用の自粛要請を行った。

(1) 札幌市体育施設の利用状況（単位：人）

ア 札幌市体育館グループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
北区体育館	158,330	30,332	188,662
東区体育館	108,789	25,840	134,629
白石区体育館	134,719	29,287	164,006
厚別区体育館	118,893	32,537	151,430
清田区体育館・温水プール	208,268	25,451	233,719
体育館	128,321	25,451	153,772
プール	76,319	0	76,319
体育館・プール共通	3,628	—	3,628
豊平区体育館	81,719	49,373	131,092
南区体育館	115,874	17,071	132,945
西区体育館・温水プール	277,404	33,442	310,846
体育館	149,030	33,442	182,472
プール	125,378	0	125,378
体育館・プール共通	2,996	—	2,996
手稲区体育館	108,788	29,199	137,987
中央体育館※1	91,069	133,141	224,210
中島体育センター	90,041	27,236	117,277
宮の沢屋内競技場	19,123	21,090	40,213
白旗山競技場	1,841	5,567	7,408
合計	1,514,858 (前年度 1,576,335)	459,566 (前年度 415,591)	1,974,424 (前年度 1,991,926)

※1 中央区体育館新築移転のため、旧中央体育館は4月14日まで、新中央体育館4月27日より営業。

イ 札幌市温水プールグループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
厚別温水プール	118,899	1,963	120,862
豊平公園温水プール	69,817	1,624	71,441
平岸プール※2	116,037	19,634	135,671
白石温水プール	73,346	3,056	76,402
手稲曙温水プール※3	63,769	813	64,582
東温水プール	110,434	4,612	115,046
合計	552,302 (前年度 558,142)	31,702 (前年度 24,909)	584,004 (前年度 583,051)

※2 北海道胆振東部地震による天井保全工事のためH30年9月6日からR1年5月10日の間休館（全館）

※3 札幌市における改修工事のため10月1日から3月31日の間休館（全館）

ウ 札幌市美香保体育館

施設名	個人利用	専用利用	合計
美香保体育館	31,598	92,128	123,726
体育館	7,876	38,013	45,889
スケート場	23,722	8,365	32,087
公園野球場	—	45,750	45,750
合計	31,598 (前年度 40,008)	92,128 (前年度 93,768)	123,726 (前年度 133,776)

エ 札幌市スケート施設グループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
月寒体育館	57,156	56,374	113,530
体育館	25,204	—	25,204
スケート場	31,952	56,374	88,326
月寒屋外競技場	550	15,608	16,158
ラグビー場	—	7,943	7,943
庭球場	—	7,096	7,096
弓道場	550	569	1,119
星置スケート場	12,494	31,284	43,778
どうぎんカーリングスタジアム	—	51,810	51,810
合計	70,200 (前年度 81,764)	155,076 (前年度 172,655)	225,276 (前年度 254,419)

オ 札幌市屋外競技場施設グループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
円山総合運動場	20,846	279,741	300,587
野球場	—	150,241	150,241
陸上競技場	19,000	69,581	88,581
庭球場	—	57,227	57,227
補助競技場	—	2,692	2,692
スケート場	1,846	—	1,846
麻生球場	—	69,806	69,806
野球場	—	67,352	67,352
庭球場	—	2,454	2,454
平岸庭球場	—	27,909	27,909
厚別公園	47,842	152,179	200,021
主競技場	29,174	138,634	167,808

	補助競技場	2,380	13,545	15,925
	トレーニングルーム	16,288	—	16,288
合	計	68,688 (前年度 75,874)	529,635 (前年度 594,844)	598,323 (前年度 670,718)

カ 札幌市スポーツ交流施設

施設名	個人利用	専用利用	合計	
スポーツ交流施設	78,126	785,782	863,908	
屋内グラウンド	63,974	765,602	829,576	
屋外テニスコート	—	9,651	9,651	
パークゴルフ場	14,152	—	14,152	
屋外球技場	—	2,811	2,811	
イベント広場	—	7,718	7,718	
合	計	78,126 (前年度 93,746)	785,782 (前年度 1,107,886)	863,908 (前年度 1,201,632)

キ 札幌市藤野野外スポーツ交流施設

施設名	個人利用	専用利用	合計	
藤野野外スポーツ交流施設	341,450	576	342,026	
夏季利用※4	3,743	—	3,743	
スキー場※5	337,707	—	337,707	
リュージュ競技場	—	576	576	
合	計	341,450 (前年度 790,317)	576 (前年度 965)	342,026 (前年度 791,282)

※4 熊出没のため、6月24日から8月9日の間休止

※5 積雪不足のため1月11日より営業となり、新型コロナウイルスにより2月29日にて営業終了

(単位：人)

体育施設合計	4,711,687 (前年度 5,626,804)
--------	------------------------------

(2) 札幌市健康づくりセンターの利用状況 (単位：人)

施設名	個人利用	専用利用	合計	
中央健康づくりセンター	113,408	—	113,408	
西健康づくりセンター	134,635	—	134,635	
東健康づくりセンター	53,255	—	53,255	
合	計	301,298 (前年度 333,688)	— (前年度 —)	301,298 (前年度 333,688)

(3) 札幌国際交流館の利用状況（単位：人）

施設名	個人利用	専用利用	合計
国際交流館	70,091	22,469	92,560
プール	46,718	15	46,733
体育室	23,314	5,153	28,467
総合	59	—	59
ライラックホール	—	17,301	17,301
合計	70,091 (前年度 78,143)	22,469 (前年度 26,154)	92,560 (前年度 104,297)

全施設合計

(1) + (2) + (3) (単位：人)

今年度利用者数	5,105,545
前年度利用者数	6,064,789
増減	△959,244

2 学校施設の開放事業/受託事業

学校施設の開放事業においては新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、2月下旬より開放を中止した。

(1) センター管理校の利用状況（単位：人）

施設区分	体育館	グラウンド	格技室	文化開放	合計
開放校数	171	32	17	16	236
開放期間	通年	5月～9月	通年	通年	—
利用者数	585,427 (前年度 615,110)	18,321 (前年度 14,577)	14,904 (前年度 13,912)	19,267 (前年度 23,558)	637,919 (前年度 667,157)

(2) 自主管理校の利用状況（単位：人）

施設区分	体育館	グラウンド	合計
開放校数	110	2	112
開放期間	通年	5月～10月	—
利用者数	563,039 (前年度 661,932)	2,573 (前年度 2,735)	565,612 (前年度 664,667)

(3) プール開放の利用状況（単位：人）

施設区分	プール
開放校数	188
開放期間	7月～8月の土日
利用者数	45,004 (前年度 37,603)

学校施設の開放合計

(1) + (2) + (3) (単位：人)

今年度利用者数	1,248,535
前年度利用者数	1,369,427
増減	△120,892

3 地域スポーツ普及振興事業 (6,171 事業 123,461 人)

(1) スポーツ教室事業 (5,966 事業 90,094 人)

各施設において、技術の向上や、健康・体力づくりを目的とし、各種教室事業を実施した。

一般事業においては、近年、子どもの体力づくりへの関心が高まる中、「バドミントン教室」や「フットサル教室」などの球技系種目のほか、幼児向けの「体操教室」や、小学生向けの「ダンス教室」などを実施し、子どもの体力づくりの場を順次拡大した。また、会社勤めの成人にも参加いただけるように「ナイトヨガ」などのフィットネス教室を実施したほか、「健康体操」や「水中ウォーキング教室」など高齢者がスポーツをはじめのきっかけとなるプログラムを実施した。さらに、障がい者スポーツ普及の観点から、新たに、知的障がい者向けの水泳教室として「チャレンジスイミング」を実施した。

(5,757 事業 81,289 人)。

その他高等教育機関及び専門機関との連携事業として、北翔大学との連携による「運動あそび い・ろ・は」などのスクール事業 (63 事業 1,009 人) を継続実施するとともに、学校開放施設を利用した「ヨガ教室」や「バドミントン教室」 (7 事業 105 人)、「カーリング」や「アイスホッケー」などのウインタースポーツ活性化のための教室 (138 事業 7,672 人)、施設間合同事業として東区の複数施設を横断的に利用する「東区わくわくスポーツ倶楽部」 (1 事業 19 人) など、季節や地域ニーズに応じた幅広い教室を実施した。

(2) スポーツ大会、スポーツイベント事業 (140 事業 31,002 人)

各施設において、「体育の日無料開放」や「さっぽろスポーツ DAY*」の無料開放 (49 事業 16,162 人) をはじめ、地域のスポーツ活動の支援となるバドミントンや卓球、フットサルなどの多種多様なスポーツ大会、スキーやアイスホッケー、カーリングなどのウインタースポーツ大会、ダンス発表会やブルフェスタなどのイベント事業を開催した (73 事業 12,612 人)。

また、参加者の交流と継続意欲を高めることを目的に、スポーツ教室受講生を対象とした大会や、供用時間外に行う朝野球大会、スポーツナイトリーグなど、複数の管理施設合同の事業 (18 事業 2,228 人) を開催した。

*さっぽろスポーツ DAY は、市民の皆さまが健康とスポーツへの関心を深め、スポーツや健康づくりのきっかけとなるよう、当財団 30 周年を契機に管理施設において、毎年 5 月 5 日を「スポーツ・健康づくりの日」として一斉に実施。

(3) スポーツキャラバン事業 (60 事業 1,539 人)

町内会及び PTA、企業などが行うスポーツ・健康づくり活動の促進を目的に、指導者の派遣、スポーツ用具の貸し出しなどを行った。

ア イベント運営請負 (地域イベントにおけるスポーツ体験コーナーの運営) 3 事業 277 人

イ 出前講習会 (民間企業などにおける体組成測定の実施) 6 事業 236 人

ウ 指導員派遣 (保健センターなどの講座への指導員派遣) 9 事業 1,026 人

エ ニュースポーツ用具のレンタル (ストラックアウトなどのレクリエーション用具を市民に貸し出し) 42 事業

(4) ウォーキングステーション事業 (5 事業 14 コース 826 人)

管理 5 施設をスタート・ゴール地点とした、国際市民スポーツ連盟 (IWV) のイヤールウンドコースを設置し、距離の認定を行った。

4 健康・スポーツ事業／受託事業 (21 事業 7,396 人)

(1) 歩くスキー常設コース事業／受託事業 (2 事業 白旗山 1,634 人／中島公園 4,316 人)

冬季間、歩くスキーの常設コースを白旗山競技場と中島公園に設置・管理するとともに、中島公園においてスキー用具の無料貸し出しを行った。

(2) ウィンタースポーツ塾（1事業 2種目 200人）

札幌市からの受託事業として小学生を対象に3日間に渡りウィンタースポーツ6種目（クロスカン트리スキー・スキージャンプ・スノーボード・カーリング・フィギュアスケート・リュージュ）の体験会の企画・運営を担った。雪不足により屋外4種目が中止となり、カーリング・フィギュアスケートのみの実施となった。

(3) 障がい者スポーツの普及促進事業（18事業 1,246人）

札幌市や一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会などの関係団体と連携して、障がい者スポーツの普及促進を図るため、札幌市からの受託事業のほか、パラスポーツ理解促進のイベントなどの共催、事業開催・運営、障がい者スポーツ実践までを広くサポートする取組みを実施した。

ア 区体育館における専用利用モニター・体験会（受託事業／10事業 215人）

イ 中島体育センター・藤野野外スポーツ交流施設における冬季障がい者スポーツ指導者養成講習会及び体験会（受託事業／4事業 42人）

ウ 月寒体育館・月寒屋外競技場・どうぎんカーリングスタジアムにおける冬季パラスポーツ体験会（受託事業／1事業 519人）

エ 東区体育館におけるパラスポーツ理解促進イベントの共催（1事業 150人）

オ 北区体育館における精神障がい者フットボール大会の協力（1事業 220人）

カ 西区体育館・温水プールにおける北海道障がい者スポーツ学生フォーラムの共催（1事業 100人）

5 健康・体力づくり相談事業（健康づくりセンター 567事業 73,518人）

(1) 健康増進・運動指導事業／指定管理事業（59事業 62,042人）

ア 健康増進・健診事業（8事業 6,078人）

健康状態の把握に必要な検査と体力測定及びこれに基づき生活・栄養・運動などの総合指導プログラムを提供する「健康度測定」を行った（4事業 1,408人）。

また、健康診断を受ける機会が少ない18歳から39歳の女性を対象とした「女性のフレッシュ健診」や、保健師、管理栄養士、理学療法士が専門的立場から利用者への相談及び指導を行った（4事業 4,670人）。

イ 運動指導事業（51事業 55,964人）

市民の健康づくり活動の実践の場として健康増進を図るため、運動フロアにおける運動機器の利用指導、「エアロビクス」、「筋トレ」などの自由参加プログラム、「ウォーキング講習」など（32事業 54,549人）、健康度測定受診者などへの個別運動指導を行った（3事業 927人）。

また、各区保健センター主催の生活習慣病予防教室への運動指導員派遣や地域で自主的に健康づくりに取り組むグループなどへ運動実践のためのアドバイスなどを行った（16事業 488人）。

(2) 健診・指導業務／受託事業（11事業 531人）

ア 健診事業（4事業 348人）

中央健康づくりセンターにおいて、各保険者が行う「特定健康診査」のほか、受診希望者に対して「大腸がん検診」及び「緊急肝炎ウイルス検査」等を行った。

イ 指導業務（7事業 183人）

国保加入の特定健康診査受診者で「特定保健指導（積極的支援・動機づけ支援）」の対象となった方に、生活習慣の改善を目的とした保健・栄養・運動の指導を行った。

また、上記の特定保健指導参加者で「運動お試し券」を持参された方に個別運動指導を行った。

(3) 健康づくり活動の支援事業など／自主事業（497事業 10,945人）

健康・体力づくりをはじめ、生活習慣病や膝痛・腰痛の予防などを目的とした教室や健康づくり活動に対する動機づけとなる講座（364事業 8,172人）のほか、子どもの体力・運動能力などの向上と、高齢者の健康維持や運動機能向上、生きがいづくり支援のための各種教室（86事業 970人）を行った。

また、地域団体等が実施する健康づくりに関する講座へ健康運動指導士、理学療法士などを派遣し、運動の実技指導や健康講座などを行ったほか、健康度測定受診者対象のオプション検査等の実施や運動指導従事者等を対象とした研修会などを開催した（47事業 1,803人）。

6 国際交流推進事業（300事業 7,868人）

(1) 国際交流事業／指定管理事業（23事業 4,376人）

札幌国際交流館において、留学生やJICA研修員などの外国人とのスポーツ交流会「白石区子どもワンダーランド」や「世界ふれあいひろば」を開催したほか、「Japanカルチャーデー」や「お正月を楽しもう」などの文化交流会、新規事業として、在札幌米国総領事館やスポーツ団体と連携し「アメリカンフットボール初心者体験会」や「フットサルフェスティバル」を実施した。またJICA北海道と共催し「環境イベントみんなでアクション！地球とともに生きる～」では、気候変動問題等、交流事業を通じて環境問題にも取り組んだ。コロナウイルス感染拡大防止に伴い、2・3月に予定していた2事業が中止となり参加者数は減少したが、JICA北海道や公益財団法人札幌国際プラザ、白石区などと共催し、市民と外国人がスポーツ・文化活動などを通じて相互理解及び親善を深め、国際交流を推進する事業を実施した。

(2) スポーツ教室事業など（277事業 3,492人）

幼児から成人までの幅広い年齢層を対象とし、技術の向上や、健康・体力づくりを目的として、テニス・水泳教室をはじめとする各種競技種目や、「ヨガ」「ZUMBA」などフィットネス教室、また小学生を対象とした「かけっこ教室」などを開催し、市民に継続的な運動の機会を提供した。

7 地域コミュニティ活性化事業（55事業 17,260人）

区役所、商店街組合、町内会などと連携し「ウインタースポーツフェスタ in 大倉山」や「新さっぽろ冬まつり」、「ひがしく健康・スポーツまつり」など地域活性化の活動・イベントに運営参画するとともに、海水浴シーズンに併せた「こどものための安全遊泳体験会」や地域防災力を高めることを目的とした「ペットの災害対策」などの啓発事業を実施した（指定管理施設内：40事業 13,624人、指定管理施設外：15事業 3,636人）。

8 情報提供及び調査研究事業

(1) イベント・教室などの募集情報の提供

新聞折り込み広告、地域ミニコミ誌、ローカルFM局、町内会回覧板などの各種媒体の活用により、健康・スポーツ及び国際交流に関する情報を積極的に発信し、施設の利用を促進した（北海道新聞折り込み広告、日刊スポーツ新聞紙面広告、ふりっぱー、北海道ランニングガイドなど）。

(2) 財団広報誌「ヘルス&スポーツライフ」の発行

健康・スポーツ及び国際交流情報を広く提供するため、「ヘルス&スポーツライフ」（Health&Sports Life：年4回、各10,000部）を発行した。

誌面には、札幌市を拠点に活躍するトップアスリートの特集インタビューを掲載した。

ア 116号～ウルトラマラソン 藤澤 舞

イ 117号～ハンドボール 土屋 健介

ウ 118号～バレーボール サフィールヴァ北海道

エ 119号～車いすバスケットボール 碓井 琴音

(3) 財団ホームページにおける情報の提供

年齢や障がいの有無に関らず、誰にとっても分かりやすく利用しやすいホームページとなるよう、ウェブアクセシビリティ方針を策定しホームページに公開するとともに、アクセシビリティに関する日本工業規格 JIS X 8341-3:2016 の適合レベル AA に準拠した。

また、財団職員として働くことについてイメージを深めてもらえるよう、職員採用情報ページをリニューアルし、事業紹介、職種紹介、職員インタビューなどの新規コンテンツを充実した。

(4) 医科学的な調査研究及び分析並びに成果・情報の提供

健康・スポーツに関する調査研究を行い、医科学的根拠を持った情報・プログラムを市民、関係機関へ発信した。

9 スポーツ大会・イベントの開催(12事業 53,689人)

(1) 第42回北海道を歩こう

札幌市立真駒内中学校をスタートし、真駒内カントリークラブまでの10kmコースと支笏湖ポロピナイまでの33kmコースを歩く初夏の北海道を満喫するウォーキングイベント。

開催日：5月26日(日)

会場：真駒内中学校

種目：10km、33km

参加者数：1,327人

(2) 6時間リレーマラソン in 札幌ドーム 2019

1周2kmの札幌ドーム特設コースをチームでたすきをつなぎながら走るリレーマラソン。

開催日：7月6日(土)

会場：札幌ドーム

種目：6時間リレーマラソン、42.195kmリレーマラソン

参加者数：1,035チーム8,767人

(3) 第44回札幌マラソン

ハーフマラソン及び10kmは公益財団法人日本陸上競技連盟公認コースで、2年振りの開催(前年は台風の影響で中止)。男子ハーフでは15年振りの大会記録を更新。

開催日：10月6日(日)

会場：真駒内セキスイハイムスタジアム他

種目：ハーフマラソン、10km、5km(オープン・車イス)、中学生(3km)、小学生(3・2km)、ファンペア(3・2km)、車イスオープン1km

参加者数：12,466人

(4) 第40回記念札幌国際スキーマラソン大会

クロスカントリースキーの普及を図る国際連盟「ワールドロペット」に加盟する国内唯一の大会。

例年がない雪不足が影響し、参加者が安全に走行できるコース整備が困難な状況であったため中止。

開催日：2月2日(日)

会場：札幌ドーム、旧西岡オリンピック記念競技場を含む周辺コース

種目：スキーマラソン50km・25km、歩くスキー11km・5km・3km、キッズチャレンジ100m

(5) スポーツ大会・イベントとの連携・協力事業

ア 第13回さっぽろトリム&ラン(6月9日)参加者数：762人

イ 第23回北の都札幌ツデーウォーク(6月22日・23日)参加者数：1,834人

- ウ 2019 札幌 30K（7 月 20 日）参加者数：784 人
- エ 第 44 回札幌小学生陸上競技教室（8 月 3 日）参加者数：129 人
- オ 北海道マラソン 2019（8 月 25 日）参加者数：21,255 人
- カ 北海道ハイテク AC 第 10 回札幌小学生陸上競技クリニック（12 月 22 日）参加者数：65 人
- キ さっぽろスノースポーツフェスタ 2020（2 月 16 日）
体験会参加者数：1,259 人 来場者数：6,300 人
- ク 2020 年札幌市室内陸上競技大会（3 月 15 日）※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

10 物品販売・貸付及び飲食店業

売店、自動販売機、コインロッカー、ドライヤー、レストラン、スポーツ用具貸出を実施した。

11 その他事業

(1) 関係団体との連携・協力事業

ア 「スポーツ・フォー・トゥモロー」コンソーシアムの登録

登録会員としての認定事業である札幌国際スキーマラソン大会などにおいて、募集要項の印刷物等を用いて PR 活動を実施したほか、競技規則の変更等により当財団所管施設で使用が出来なくなったスポーツ用品を発展途上国へ提供した。

イ 「さっぽろグローバルスポーツコミッション」への参画

札幌の豊富なスポーツ資源を最大限に活用することにより、国際大会や事前合宿、スポーツイベントの誘致を目指す「さっぽろグローバルスポーツコミッション」の運営に参画し、国内外へ国際都市札幌の魅力を発信するとともに、インバウンド振興など交流人口の拡大に協力した。

ウ 札幌市障がい者スポーツ普及促進協議会への参画

札幌市のスポーツ行政推進への協力として、障がい者スポーツ普及促進における基本的な方向性と実現に向けた方策を協議する場である同協議会に参画した（6 月・11 月・3 月開催）。

エ 北海道歩くスキー協議会の運営

北海道内の歩くスキー、クロスカントリースキー 13 大会が加盟する同協議会の事務局を担い、大会相互の連携と発展を図った。

オ スポーツボランティアの育成支援

スポーツイベントの活性化を図るため、NPO 法人日本スポーツボランティアネットワークに加盟し、「スポーツボランティア研修会」を開催した。

また、財団ホームページにおいて道内のスポーツボランティア募集情報を随時掲載し、人材確保を支援した。

カ 「事業連携包括協定」の締結

北翔大学との間で、学生が札幌マラソンなどの運営に携わる「事業連携包括協定」により、各種大会の運営に学生が携わった。北海道を歩こう、北の都札幌ツーデーウオーク、札幌 30K、6 時間リレーマラソン、札幌マラソンの 5 事業に、計 170 人が従事した。

また、協働事業として、北翔大学が運動プログラムの検証・分析を行う「運動あそび い・ろ・は」（8 施設 592 人）や「幼少年体力測定会 2019 秋」を実施した。

キ スポーツ指導者及び施設運営管理者の育成

公益財団法人日本体育施設協会及び順天堂大学との連携による「体育施設管理士養成講習会（39 人参加）」、一般社団法人幼少年体育指導士会との連携による「幼少年体育指導士認定講座（37 人参加）」を開催し、健康・スポーツ施設の運営管理者及び指導者を育成した。

ク プロスポーツへの貢献事業

札幌市を拠点とする以下のプロスポーツ団体の活動を支援した。

(7) 北海道コンサドーレ札幌

a クラブパートナー契約の締結

(イ) エスポラーダ北海道

a オフィシャルパートナー契約の締結

b 中央体育館にて女子フットサルスクールを協働開催、その他 6 施設で SHSF フットサル教室を協働開催

(ウ) レバンガ北海道

a オフィシャルスポンサー契約の締結

b 中央体育館、国際交流館にてレバンガ北海道バスケットボールアカデミーを協働開催

(エ) 北海道日本ハムファイターズ

a 「キッズドリームシート」事業への協力

b 手稲区体育館、中央体育館にてファイターズベースボールアカデミーを協働開催

ケ 職員の派遣、役員就任など

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（1 名）、一般財団法人札幌市体育協会（1 名）へ職員派遣を行い、団体の活動を支援した。

また、「さっぽろグローバルスポーツコミッション委員」など、委員への就任による運営協力、「第 19 回札幌市障がい者スポーツ大会」、「第 26 回北海道スプリント水泳競技会」などのスポーツ大会の後援（70 事業）を行い、スポーツと健康づくりの活動を支援した。

コ 高等教育機関と連携したデザインの制作

札幌市立大学デザイン学科と連携し、各施設で作成する配布物のデザイン向上に取り組んだ。

(2) 社会貢献及び環境美化活動

ア 環境保全活動

植栽などの実施、ペットボトルキャップの回収（回収累計 27,981 キログラム）、環境教育へのクリック募金への協力（寄付金額 240,000 円）、「生物多様性さっぽろ応援宣言企業」への登録など、環境保全活動に積極的に協力した。

イ 地域防犯活動

地域における防犯・安全活動への協力として、31 施設で「札幌市地域安全サポーターズ」へ登録し、地域の防犯パトロールや、子ども 110 番の店として防犯活動を推進した。

また、連合町内会及び警察署などに協力し、地域における交通安全啓発運動に協力した（月寒体育館、どうぎんカーリングスタジアム、藤野野外スポーツ交流施設）。

ウ 地域への安全なスポーツ環境の提供

さっぽろ救急サポーターとして、各施設には応急手当のできる職員を配置し、速やかに応急手当が行える環境を整えた。また、札幌市水上安全赤十字奉仕団との協働による「こどものための安全遊泳体験会」や日本公共スポーツ施策推進協議会公認の「いのちの教室」を開催するなど、地域の安全・安心なスポーツ活動の実施に協力した。

エ インターンシップなどの推進

インターンシップや職場体験学習を積極的に受け入れ、学生や産業界などの活動を支援した（受け入れ件数：122 件、延べ人数：1,458 人）。

オ 障がい者就労施設などへの協力

障がい者就労施設（障がい者支援施設、就労継続支援 B 型事業所など）から物品購入、印刷発注などを行い、地域の福祉施策へ積極的に協力した。

カ さぼーとほっと基金への寄付

各施設に設置の自動販売機売り上げに係る手数料収入の一部を「さぼーとほっと基金」に寄付し、自動販売機及び当財団ホームページにおいて周知をした。

キ 募金活動

社会貢献や地域支援などを目的とした関係機関との連携支援として、盲導犬育成支援募金（募金額：62,200円）及び北海道胆振東部地震災害義援金（募金額：96,181円）、東日本大震災復興支援募金（募金額：令和元年度分 20,542円、累計 1,775,893円）、熊本地震災害救援募金（募金額：令和元年度 21,301円、累計 450,711円）などに協力した。

ク 献血への協力

「献血サポーター」として登録し、献血へ積極的に参加することを全職員に呼びかけ、北海道血液センターにて成分献血及び全血献血に協力した。

12 利用者・事業参加者の総数と収支

(1) 総数

内 容	利用者・参加者数（人）
指定管理施設の運営事業（講習会・教室、大会などの参加者数含む）	5,105,545
学校施設の開放事業（講習会など含む）	1,248,535
スポーツ・健康づくり事業の開催など（指定管理施設外）	58,607
地域関係団体・機関との連携事業（指定管理施設外）	3,636
合 計	6,416,323 (前年度 7,501,845)
増 減	△1,085,522

(2) 収支

収 入 4,281,698,011円

経 費 4,316,136,222円

13 処務の概況

(1) 令和元年度末理事・監事・評議員

役 職	氏 名	当初就任年月日	就任年月日	常勤・非常勤
理 事 長	二木 一重	29. 6. 29	元. 6. 26	常 勤
常務理事	上野 輝佳	29. 6. 29	元. 6. 26	常 勤
理 事	星 満	25. 4. 1	元. 6. 26	常 勤
理 事	川島 行雄	27. 6. 26	元. 6. 26	常 勤
理 事	前 淳一	元. 6. 26	元. 6. 26	常 勤
理 事	村田 祐一	元. 6. 26	元. 6. 26	非常勤
理 事	沖 洋安	元. 6. 26	元. 6. 26	非常勤
理 事	沖田 孝一	元. 6. 26	元. 6. 26	非常勤

監事	水野 克也	24. 7. 1	29. 6. 29	非常勤
監事	高間 亨	30. 6. 27	30. 6. 27	非常勤
評議員	小田原 史佳	30. 6. 27	30. 6. 27	非常勤
評議員	川初 清典	25. 4. 1	29. 6. 29	非常勤
評議員	黒島 隆一	25. 4. 1	29. 6. 29	非常勤
評議員	晴山 紫恵子	25. 4. 1	29. 6. 29	非常勤
評議員	堀田 真理	29. 6. 29	29. 6. 29	非常勤
評議員	前田 真子	元. 6. 26	元. 6. 26	非常勤
評議員	柳原 正明	28. 4. 1	29. 6. 29	非常勤
評議員	山田 一八	30. 6. 27	30. 6. 27	非常勤

(2) 令和元年度末職員数

職種／性別	男性	女性	合計
正職員	118人	37人	155人
嘱託職員	56人	49人	105人
臨時職員	14人	14人	28人
パート職員	220人	388人	608人
合計	408人	488人	896人

(3) 理事会・評議員会の開催状況

ア 理事会

開催年月日	議事事項
第1回 令和元年6月11日	(1) 第1号議案 平成30年度事業報告について (2) 第2号議案 平成30年度決算(監査報告)について (3) 第3号議案 平成30年度公益目的支出計画実施報告について (4) 第4号議案 平成31年度スポーツ振興くじ助成金交付内定に伴う誓約書の提出について (5) 第5号議案 理事の任期満了に伴う新理事候補者名簿の承認について (6) 第6号議案 一般財団法人札幌市体育協会との統合等について (7) 第7号議案 役職理事退職慰労金の支給額について (8) 第8号議案 令和元年度第1回評議員会の開催について
第2回 令和元年6月26日	(1) 第1号議案 役職理事の互選について (2) 第2号議案 諸規程の改正について (3) 第3号議案 令和元年度収支予算の変更について
第3回 令和元年8月23日	(1) 第1号議案 藤野野外スポーツ交流施設の指定管理者への応募辞退について (2) 職務執行状況報告(理事長及び常務理事)

第4回 令和元年11月7日	(1) 第1号議案 一般財団法人札幌市体育協会との統合に伴う吸収合併契約の締結について (2) 第2号議案 諸規程の改正について (3) 第3号議案 令和元年度第2回評議員会の開催について (4) 職務執行状況報告（理事長及び常務理事）
第5回 令和2年2月5日	(1) 第1号議案 公益目的支出計画の変更認可申請について
第6回 令和2年3月10日	(1) 第1号議案 新理事候補者名簿の承認について (2) 第2号議案 定款の変更について (3) 第3号議案 令和元年度第3回評議員会の開催について (4) 新型コロナウイルス感染症の対応について (5) 令和元年度決算の見込と固定資産の購入及び支払寄付金について (6) 統合事務に関する進捗報告と今後の予定について
第7回 令和2年3月26日	(1) 第1号議案 令和2年度事業計画について (2) 第2号議案 令和年度収支予算について (3) 第3号議案 諸規程の制定及び改正について (4) 職務執行状況報告（理事長及び常務理事）

イ 評議員会

開催年月日	議事事項
定時評議員会 令和元年6月26日	(1) 平成30年度事業報告について (2) 平成30年度公益目的支出計画実施報告について (3) 北海道胆振東部地震への財団の対応について (4) 一般財団法人札幌市体育協会との統合等について (5) 第1号議案 平成30年度決算及び監査報告について (6) 第2号議案 評議員の選任について (7) 第3号議案 理事の選任について (8) 第4号議案 役職理事の退職慰労金の支給額について (9) 第5号議案 評議員及び役員の報酬並びに費用に関する規程の改正について
第2回 令和元年12月5日	(1) 第1号議案 一般財団法人札幌市体育協会との統合に伴う吸収合併契約の締結について (2) 一般財団法人札幌市体育協会との統合事務に関する進捗状況と今後の予定について
第3回 令和2年3月26日	(1) 第1号議案 評議員の選任について (2) 第2号議案 理事の選任について (3) 第3号議案 定款の変更について (4) 新型コロナウイルス感染症の対応について (5) 公益目的支出計画の変更認可申請について (6) 統合事務に関する進捗報告と今後の予定について

(4) 収支及び正味財産の増減の状況並びに財産の状態の推移

(単位：千円)

	27年 3月期	28年 3月期	29年 3月期	30年 3月期	31年 3月期	令和2年 3月期
経常収益	4,210,755	4,302,253	4,348,979	4,371,925	4,237,526	4,281,698
経常費用	4,148,763	4,110,747	4,104,954	4,275,598	4,195,775	4,316,136
当期経常増減額	61,992	191,506	244,025	96,327	41,751	△34,438
経常外収益	-	-	-	-	-	93,483
経常外費用	-	-	-	1,517	205	-
法人税等	13,413	73,080	77,484	12,497	19,887	29,012
当期一般正味財産増減額	48,579	118,426	166,541	82,313	21,659	30,033
期首一般正味財産増減額	1,024,793	1,073,373	1,191,801	1,358,342	1,440,655	1,462,314
期末一般正味財産額	1,073,373	1,191,801	1,358,342	1,440,655	1,462,314	1,492,347
期末正味財産額	1,093,373	1,211,801	1,378,342	1,460,655	1,482,314	1,512,347
資産合計	2,675,388	2,836,470	3,003,222	3,053,332	2,994,717	2,969,520
負債合計	1,582,015	1,624,669	1,624,880	1,592,677	1,512,403	1,457,173
正味財産	1,093,373	1,211,801	1,378,342	1,460,655	1,482,314	1,512,347

(5) 公認会計士の関与の有無

会計事務所との監査契約に基づき、年3回の監査と指導・相談を受けている。